



東京都



第118号 2020年11月1日<隔月>

支庁の風

☆支庁HPにてカラー版掲載中☆

発行 東京都八丈支庁総務課
この広報誌には、音声コードが各ページ
右下、又は左下に印刷されています。

11月号の気になる見出し

注目!

◆ビジターセンター100万人突破!

◆神湊(底土)港の事業紹介!

◆【特集!】

第二弾!「八文学」授業見学しました。

八丈ビジターセンター累計来館者数 100万人突破!

令和2年8月12日(水)、八丈ビジターセンターの累計来館者数が100万人に達しました。1992年(平成4年)に開園してから28年間、多くの皆様のご来館に感謝しております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に備え、新しい生活様式を実践いただいているところではありますが、今後とも皆様のご来館を心よりお待ちしております。

○ビジターセンター案内

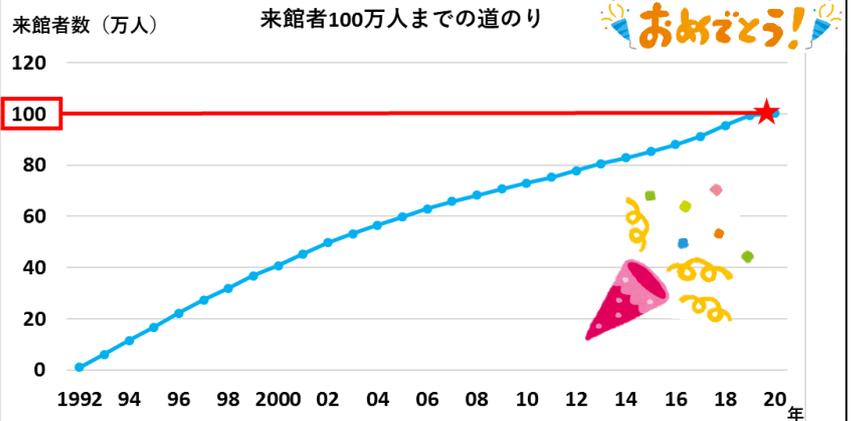
開園時間: 9:00~16:45

休館日: 年中無休

入館料: 無料

所在地: 東京都八丈島八丈町
大賀郷 2843

電話: 04996-2-4811



※八丈ビジターセンターでは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行っております。ご来館の際はマスクの着用、手指の消毒等にご協力お願いいたします。 土木課維持工事担当 2-1114

八丈ビジターセンター行事予定表

11/ 8 (日)	植物公園季節調査会
11/15 (日)	東京文化財ウィーク企画事業 「シダ植物観察会(北限のヘゴを訪ねて)」
11/28 (土)	八文学講座「ひつつき虫を調べよう」
12/13 (日)	植物公園季節調査会
12/26 (土)	八文学講座「流人 近藤富蔵を知ろう」



毎週土日祝: 植物公園ガイドウォークを開催
詳細は、八丈ビジターセンター(2-4811)までお願いします。

百歳訪問について

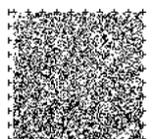


東京都では、年度中に百歳を迎えられる方に対し、長寿を祝福し知事の祝状及び記念品を贈呈する百歳訪問事業を行っています。

今年度も老人週間(9月15日から9月21日まで)に、大正9年5月4日から大正10年2月9日までに出生された山下榮美子さん、森美佐子さん、石井シゲ子さん、笹尾ハツミさん、佐々木ヨネ子さんへ、知事名の祝状と記念品(江戸伝統工芸)並びに内閣総理大臣名の祝状及び記念品(銀杯)が贈呈されました。おめでとうございます。

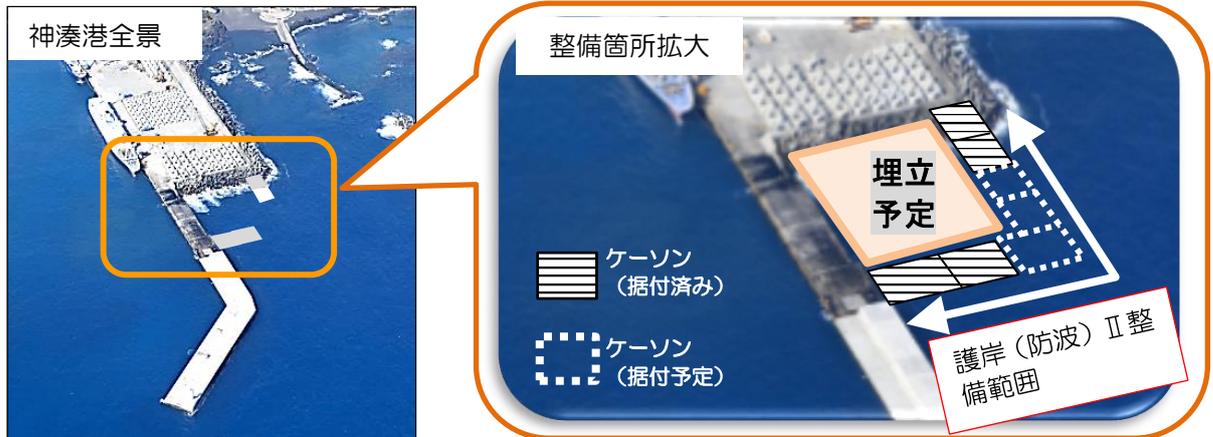


総務課福祉担当 2-1112

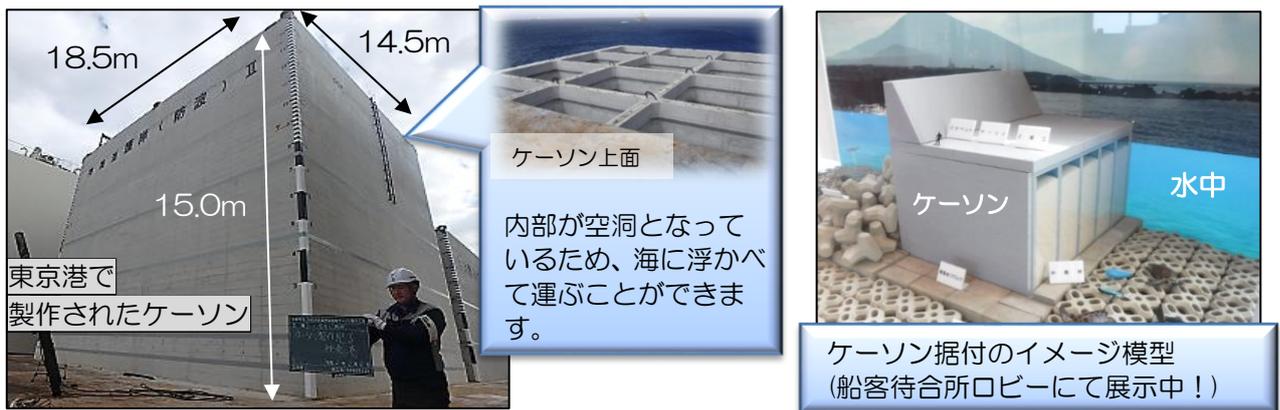


神湊（底土）港の事業紹介

港湾課では、神湊（底土）港において、定期船の就航率及び利便性の更なる向上を目指し、越波対策や荷役作業の効率化を図るための護岸（防波）Ⅱの整備を進めています。



本体工には「ケーソン」という鉄筋コンクリート製の大きな箱を採用しています。ちなみに今年度据え付けたケーソンは2,482 tでした。東京港で製作したケーソンを神湊（底土）港まで曳航し、海水を注水することで所定の位置に沈設します。全てのケーソン据付後は、内側水域を土砂等で埋め立てて用地造成する予定です。



今後も引き続き工事を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

港湾課 2-1115

東京都地域特産品認証事業について



(Eマーク)

東京都は、都内産の食品などを審査・認証し、PRする事業（東京都地域特産品認証事業）を進めています。都内産の原材料を使用している加工食品や東京の伝統的な手法など生産方法に特徴があると認められるもののうち、東京都の審査を通過すると、その証として「Eマーク」が食品のパッケージに貼付されます。

「Eマーク」がついた食品は、東京都からPRされるほか、都が主催する商談会やイベントへの出展ができます。認証事業者から「営業しやすくなった。」との意見も出ています。

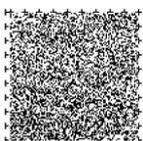
認証する食品は、年間を通して募集中です。ご自慢の商品について認証をお考えの方は、産業労働局農林水産部食料安全課（03-5320-4883）へお問い合わせください。

八丈島・青ヶ島の認証食品	認証食品生産者	問合せ先
焼くさや瓶詰（味付） 外 4 点	マルタ水産加工場	2-0348
飛魚くさや 外 6 点	ヤマサ水産 長田商店	2-1037
明日葉ふわふわ削り節 外 3 点	有限会社 あしたば加工工場	2-3181
ひんぎゃの塩 外 1 点	株式会社 青ヶ島製塩事業所	9-0241



QR
コード

産業課商工担当 2-1113



東京都 母子及び父子福祉資金・女性福祉資金の貸付

東京都ではひとり親家庭の父母等や配偶者のいない女性に対し、**修学・就職・転宅等**、目的により必要な額を各資金の限度額内でお貸ししています。**お子さんが高校、大学、専門学校等へ入学するために必要な資金の貸付もあります**。貸付対象は下記に該当かつ貸付が自立につながり、償還（返済）の計画が立てられる方です。ご相談・お申込みにつきましては、八丈支庁福祉担当にお問い合わせください。（要電話予約）
総務課福祉担当 2-1112

母子及び父子福祉資金

○対象者：都内に6カ月以上お住まいの母子家庭の母又は父子家庭の父等で20歳未満のお子さん等を扶養している方

女性福祉資金

○対象者：都内に6カ月以上お住まいの配偶者がいない女性で、次のいずれかに該当する方

- (1) 親・子・兄弟姉妹等を扶養している方（所得制限なし）
- (2) 年間所得が2,036,000円以下で、かつて母子家庭の母として20歳未満の子を扶養したことがある方又は婚姻歴のある40歳以上の方

※資金の種類及び貸付限度額等の詳細については、東京都福祉保健局のウェブページに掲載しています。また、八丈支庁総務課においてパンフレットを配布していますので、遠慮なくお越しください。
※貸付の決定に当たっては、必要な資金の内容、生活収支状況等について確認をさせていただいたうえで、審査を行います。審査の結果、貸付けができない場合もありますのでご了承ください。また、審査及び交付には最短でも1か月程時間がかかります。必ず余裕をもって事前にご相談ください。
※資金の種類や申請する方の収入状況によっては、連帯保証人（要件あり）が必要な場合があります。

東京文化財ウィーク2020<特別公開事業>の一部変更について

支庁の風第117号でお知らせした11月8日（日）開催の「八丈島の民謡 公開練習会」と11月1日（日）開催の「青ヶ島の島踊り」の公開は中止になりました。 教育庁八丈出張所 2-0742



「身近な場所で野鳥の死がいを見つけたら」

大陸からの渡り鳥が島内でも見られる季節になりました。死亡した野鳥を見つけたら、次のことにお気をつけ下さい。

野鳥は様々な原因で死亡します

野鳥は、環境の変化や餌がとれないなど、様々な原因で死亡します。野鳥が死んでいても、直ちに鳥インフルエンザを疑う必要はありません。

死亡した野鳥は素手で触らないで下さい

野鳥は鳥インフルエンザ以外にも様々な細菌や寄生虫をもっていますので、日常においては、野鳥への過度な接触や、餌やりは控え、糞尿には直接触れないよう心がけて下さい。

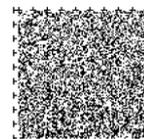
鳥インフルエンザへの感染について

もしも野鳥が死んでいた場合でも、高病原性鳥インフルエンザによるものである可能性は極めて低いといえます。多数の野鳥が一度に死んでいる状況でなければ、野鳥の死がいは素手で触れないようにして土に埋めてあげるか、ビニール袋に入れてきちんと封をして、一般ゴミとして処分して下さい。



同じ場所でたくさんの鳥が死亡していたら、下記までご連絡下さい。

産業課林務担当 2-1113



「狩猟期間のお知らせ」

11月15日（日）から来年2月15日（月）まで狩猟期間となっています。この期間中は、狩猟者が山に入って狩猟を行います。

支庁では、狩猟を安全に行うよう狩猟者へ事故防止について指導していますが、より一層の安全確保のため、登山道以外に立ち入らないようご注意ください。
産業課林務担当 2-1113

注目!

「八文学」特集第二弾！！

授業内容

八丈高校では、八丈島の良さを島内外へアピールするために、フェノロジーカレンダー※の作成を進めています。1学年普通科の生徒が食・文化・自然など5つのテーマに分かれて作業し、完成を目指して取り組んでいます。今回は文教大学の海津ゆりえ教授をオンラインにより講師に迎え、海津ゼミの学生、島内の一般参加者を加え、作成に向けての講義が行われました。

年度末に発表も

年度末には完成したフェノロジーカレンダーを発表する予定とのことです。八高生の皆さん頑張ってください！

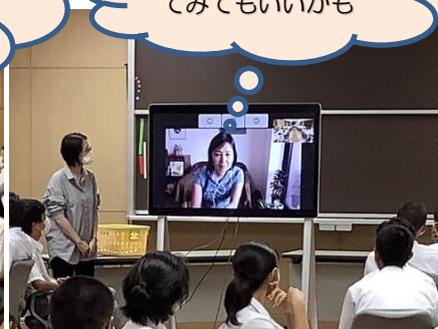
1人1回島言葉！
やろこん、こげーる
...

黄八丈について調べて
みるてもいいかも

レモンって誰に聞
けばいいんだろ...



○授業開始！



○文教大学海津教授リモート参加！



○議論中！

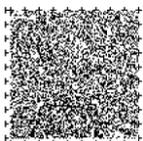
授業に参加 してみてください

八高の生徒が八丈島の様々なものに対して、興味を抱きながら取り組んでいる様子を見ることが出来ました。今後も楽しみながら、様々な課題に取り組み、発表会まで突き進んでもらいたいと思います。八丈支庁も「八文学」で生徒さんと関わりながら、今後も継続して支援をさせていただきます。

※フェノロジーカレンダー・・・地域の自然と人の営みを表した生活季節暦のこと。気象、自然、祭礼行事、食の旬など、365日の移り変わりがひと目で把握できる。

総務課行政担当 2-1111

編集後記 今年も残すところ2か月となりましたね。今年の夏はいつもの夏とは違い、自宅にいる時間が長かったのですが、海でカメと泳いだり、釣りにチャレンジするなどいろいろな経験をすることが出来ました。まだまだやりたいことがたくさんあるので、残りの期間で八丈富士登山などできる範囲で一つずつトライしていきたいと思っています。



発行 東京都八丈支庁総務課

〒100-1492 東京都八丈島八丈町大賀郷2466-2

電話 04996-2-1111 FAX 04996-2-3601

八丈支庁のホームページ <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/O9hatijou/index.html>

印刷番号2(1)

